

新春 座談会

ご出席のみなさん

山口県農林部長 藤本裕夫
 日置農業改良普及所長 鈴木和典
 “(生活改良普及員) 松岡秀子
 油谷町長 松永對介

油谷町農業の

一 活力ある

地域づくり運動

なっております。この農道完成の
 晩には農業の面だけでなく、関係
 地域に与えるいろいろな面で町の
 発展につながるものと考えていま
 す。また、先程申し上げました久
 富地区のは場整備の着工と同時に
 伊上地区においても山村振興対策
 事業・団体営土地改良事業・単
 県土地改良事業で合せて五九ヘク
 タール前後のは場整備を昭和六〇
 年から六一年にかけて事業実施を
 予定しております。

本郷地区において、農村基盤総
 合整備事業（ミニ総バ）で、は場整
 備も進めており平坦なところの少
 ない地域の基盤整備も実施してい
 ますが、町の北半分を占めている
 宇津賀地域・向津具地域の傾斜地
 の耕地をどのように基盤整備を進
 めるかという非常にむづかしい問
 題もあるわけでございます。

そのような面からもご指導・ご
 指摘をお願いします。



藤本県農林部長

藤本県農林部長 いま町長さんが
 おっしゃったように基盤整備は非
 常に大事なことだと思います。農
 業の生産性の向上を図っていく上
 で、一番必要なことは、まず基盤
 整備だと思います。これを推進す
 ることによってほ場条件の良い優

良な農用地を確保することができ
 ますし、農作業の能率もアップさ
 れますので生産性の向上に非常に
 大きな役割を果たしていくと思
 います。

油谷町は町長さんがおっしゃっ
 たように、山間棚田も多く地形等
 が複雑で生産性の向上が阻害され
 ているという悪条件もあります。

そういう中で基盤整備は、地域
 の特性に応じた計画をたてて進め
 ていかなければならないと思いま
 す。その中でいま言われたように
 油谷町では昨年からは久富地区の二
 四〇ヘクタールの県営ほ場整備に
 着手しました。完成を昭和六五年
 と予定しておりますが、今後もち
 う事業を進めていくことが必要
 だと思えます。また水の確保とい
 うことも非常に重要なことです。

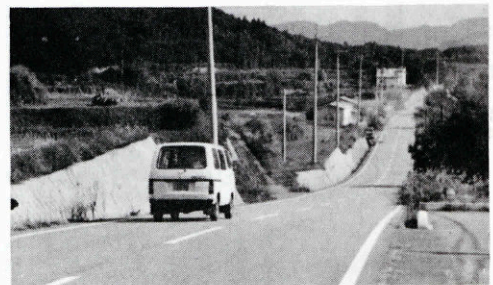
ご承知のように、県営かんがい
 排水改良事業の有宗ダムを昭和五
 五年から事業開始して昨年の一
 月に入札を終り工事に着手したと
 ころであります。これも昭和六一
 年完成を目標に事業を進めていか
 なければならんと考えております。

その他の団体営のかんがい排水
 事業・中畑ため池・県営ため池整
 備事業としての牛ヶ迫のため池で
 すね。こういうものも同時に進め
 ていきたいものです。

町長さんもおっしゃった大型広
 域農道、これはようやく完成の運
 びとなりました。竣工式の日どり
 も早くきめたいと思いますし、町
 長さんからお話をあつた記念碑も、
 碑文を平井知事に書いていただけ
 ることになっていきます。

油谷町の特徴として地すべり地

域が非常に多いですが、こうい
 う地域の整備も大切なことです。



大型広域農道

今後農業基盤の整備を進めるた
 めには、まず農業者の皆さんが地
 域の農業をどのようにしていくか
 どのような農業をやっていくかと
 いうこと、そのためにはどのよう
 な事業を取り入れて行くか十分話
 合せてきめることが必要だと思
 います。私もできるだけのお手伝
 いをしますし、継続中の事業の促進
 も図っていきたくと考えています。

松永町長 私どもがいま油谷町の
 基盤整備の問題で一番心にひかか
 るのは、傾斜地における整備につ
 いてです。今後どのようなかたち
 で進めたらよいとお知恵をい
 ただくと非常にありがたいので
 が……。

藤本県農林部長 ほ場整備にし
 ても非常にたくさん事業とい
 いますか、いろいろと選択ができ
 るようなかたちになっているわけ
 です。